

あしぎんの取り組むソリューション 課題を可能性に、挑戦を確かな一歩に

事例 紹介

LAマイスター株式会社 (栃木県下野市)

設立 2013年
業種 スポーツ用品製造業〔主にバドミントンのガット〕



小山事務所・工場

既存設備がないーガットのカット・巻き直し自動化の壁

バドミントンのガットを所定の長さにカットし、小売り用のパッケージに巻き直す工程の自動化を進めたいと考えていましたが、市場には適した設備メーカーがないという課題に直面していました。そこで



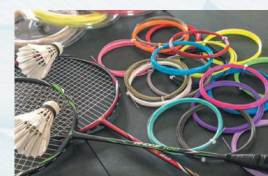
小売店で販売するため、ポビンに巻かれたガットを200m単位でカットし、パッケージ内に巻き直す

地域金融機関として幅広いネットワークをもつ足利銀行なら、と相談し紹介されたのが、繊維加工の技術に強みを持つ機械メーカーさんでした。一見すると今回の課題とは遠い企業に思えました。しかし、設計担当の方がこちらの要望を深く理解して、既存の発想に捉われないアイデアを出してくれたことで、不安は強い期待に変わっていきました。

“人と技術”が新しい価値を生む

ものづくりコーディネーターの花田さんは技術だけではなく、企業の“人”を知り、「この人ならチャレンジしてくれる」という熱量まで含めて紹介してくれたことで、今回のマッチングにつながりました。足利銀行の“技術と技術を組み合わせれば新しいものが生まれる”という発想、そして何より『人』を見る力に大きな価値を感じています。

地域とともに成長するブランドへ



ラケットやシャトル、シューズ等バドミントン用品を総合的に取り扱う



自社の成長を通じて、地域の産業が大きくなることに意味があると考えています。そのためには地域企業との連携が不可欠です。地域企業と一緒に作ることで、品質も技術も高められる。それが結果的にブランドの価値につながっていると思います。足利銀行には、自社だけではできない部分を、地域のネットワークでつないでもらえるのがありがたい。今後も一緒に挑戦していきたいです。

選手が試合で使っている姿を見るのが一番嬉しい。目標はKIZUNAを使った選手がオリンピックで金メダルをとることです。

代表取締役
阿部 亮祐



環境で素材は微妙に変化する。品質を守るうえで、設備と人の技術の両立はとても重要です。

GM
土居 健次郎



ものづくりの専門家である「ものづくりコーディネーター」は、お客さまとの対話を通じて、課題の整理、技術検証、取引先の紹介といったニーズに応じて具体的な解決策のご提案を行っています。スポーツ用品の製造を通じて独自の技術を磨きながら、新製品開発や生産性向上に挑戦を続けているLAマイスター株式会社の事例をご紹介します。

専門家連携で “技術の壁”を越える伴走支援

ものづくり企業には、長年培ってきた技術やノウハウ、現場の知恵など、企業ごとに大きな強みがあります。

一方で、地球環境問題や自動車のEV化、紛争、AI技術の進展などに起因する多様な変化・変革の中で、人手確保や工程の効率化に向けた省力化・自動化から、異常気象などへの備えとしてのBCP対策など、取り組みたいテーマも多岐にわたり、「次に何をしたらよいのか分からない」という悩みを抱える企業さまも少なくありません。

私は、そのようなお困りごとのご相談をいただいた際、まずはそのお客さまの現況や立ち位置を丁寧にお聞きし、理解することを大切にしています。

連携可能な企業や大学・試験研究機関、導入すべき機器や活用可能な支援制度など、必要なピースを明らかにしながら、最適解を共有し、自立的・継続的に成長していけるような提案と支援を心がけています。

皆さまの技術と情熱を、新たな挑戦と未来の成長へとつなげていくことで、私たち自身も一緒に成長していきたいと思っています。



法人コンサルティング部
ものづくりコーディネーター
花田 康行

日ごろの対話が、信頼につながる。

日々の訪問や対話の中で、製造現場の悩みや挑戦を丁寧に伺ってきました。今回、お客さまのビジョンの実現のお手伝いをさせていただけたことは、こうした日々の積み重ねがあつてこそと感じています。今後も、お客さまの良きパートナーであり続けられるよう活動していきます。



小山支店
渉外担当
平野 文章

お客さまの成長と挑戦に
伴走する専門チーム

各分野を専門とするメンバーが地域企業の成長と発展に向け伴走しています



IT



もの
づくり



企業
支援



海外
支援



医療
介護



物流



自動車
産業